

日本史探究	単位数	3 単位
	学年	第 2 学年
使用教科書、副教材等	東京書籍「日本史探究」(日探 701),	

### 1 学習の到達目標

- ①我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ②我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ③我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

### 2 科目の特色

「日本史探究」は地理歴史科の中に新しく設けられた標準単位数3単位の科目である。「歴史総合」で学んだことを基に、発展的に学習する選択履修科目として位置づけられているため、「歴史総合」を履修した次年度以降に学習することになっている。従前の「日本史A」「日本史B」のねらいを発展的に継承しつつ、我が国の歴史の展開について総合的な理解を深め、各時代の展開に関わる概念等を活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し、地域や日本、世界の歴史の関わりをふまえ、現代の日本の諸課題とその展望を探究する力を養うことをねらいとして設置された。

『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 地理歴史編』では、「日本史探究」における改善・充実の要点として、以下の6点が示されている。

- ①「社会事象の歴史的な見方・考え方」に基づく学習活動の充実
- ②「主題」や「問い」を中心に構成する学習の展開
- ③単元や内容のまとまりを重視した学習の展開
- ④「歴史の解釈、説明、論述」を通じた知識、概念の深い理解と「思考力・判断力・表現力等」の育成の一層の重視
- ⑤資料を活用し、歴史の学び方を習得する学習
- ⑥歴史的経緯をふまえた現代の日本の課題の探究

このような要点をふまえたうえで、「日本史探究」は、「歴史総合」の学習で獲得した技能や歴史の学び方を活用し、我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを考察し、歴史的経緯をふまえて、現代の日本の課題を探究する趣旨から「A 原始・古代の日本と東アジア」、「B 中世の日本と世界」、「C 近世の日本と世界」、「D 近現代の地域・日本と世界」の4つの項目で構成されている。

大項目A～Dの中項目(1)では、時代の転換を取り上げ、考察し、「時代を通観する問い」を表現することとしている。中項目(2)では、複数の資料を活用し、(1)で表現した「時代を通観する問い」をふまえ、時代の特色について「仮説」を表現することとしている。中項目(3)では、(1)で表現した「時代を通観する問い」および(2)で表現した「仮説」をふまえ、資料を活用し、各時代の歴史の展開について、主題を設定し、事象の意味や意義、関係性などを考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史に画期などを根拠を示して表現することとしている。中項目(3)では、従前の「日本史B」から引き継いだ、「歴史の解釈、説明、論述」について、それらを繰り返すことにより、より深い理解を図ることとしている。また、大項目Dのみに中項目(4)が設定されており、「日本史探究」のまとめとして、現代の日本の課題の形成に関わる歴史と展望について、多面的・多角的に考察、構想し、その結果を表現することとしている。

上記のような社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指すのが、「日本史探究」という科目である。

### 3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
4月	第1編 先史・古代の日本と東アジア		○人類が日本列島で生活を営み始めた時代から平安時代までを扱い、先史・古代がどのような時代であったかを東アジア世界の動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解できるようにする。	
		第1章 先史社会の生活と文化	○旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立に至る時期の日本列島の歴史的環境と文化の形成とを関連付けて時代の転換を理解し、先史社会の特色や古代の国家や社会との関わりについて多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	
		1 旧石器時代の日本	○人類の出現と旧石器時代の日本列島について理解する。	○人類の出現や旧石器時代の日本列島に暮らす人々の生活に関する資料を基に、「旧石器時代の日本列島の人々は、いつごろから、どのような環境のもとで、どのような生活を送っていたのだろうか」などの課題（問い）を設定し、旧石器時代の日本について考察し、表現する。
		2 縄文文化	○縄文文化の特色や日本人の起源について理解する。	○縄文時代の人々の生活に関する資料を基に、「土器や道具など縄文文化を特徴づけるものはどのように生まれ、人々の生活や文化にどのような変化をもたらしたのだろうか」などの課題（問い）を設定し、縄文文化について考察し、表現する。
		●歴史を探る 縄文人の生活を探る —三内丸山遺跡	○三内丸山遺跡の発掘調査の成果から、縄文時代の人々の生活についての理解を深める。	

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		3 弥生文化と小国家の形成	<p>○弥生文化の特色と小国家の形成について理解する。</p> <p>○先史社会の展開から古代への時代の転換に着目して、先史社会の特色や古代の国家や社会との関わりについて多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。</p>	<p>○弥生時代の人々の生活に関する資料を基に、「日本列島において、水稲耕作はどのように広まり、その後の社会にどのような影響をおよぼしたのだろうか」などの課題（問い）を設定し、弥生文化の特色と小国家の形成の関係について考察し、表現する。</p> <p>○第1章での学習や、中学校社会科歴史的分野における学習の成果を活用するなどして、先史社会の展開から古代の時代の転換を示す指標や事象について考察する。</p> <p>○時代の転換について着目し、黎明期の日本列島や先史社会の特色についての考察などをふまえ、時代を通観する問いを表現する。</p>
	第2章 歴史資料と先史・古代の展望		<p>○資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から先史・古代の特色についての仮説を表現することを通じて、第3章に向けて、見通しをもった学習を展開できるようにする。</p>	
		1 先史・古代の歴史を組み立てる資料の特質	<p>○先史・古代の歴史を組み立てる資料から適切な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。</p> <p>○第1章で立てた時代を通観する問いをふまえ、先史・古代の歴史を組み立てる資料を通して読み取れる情報から、先史・古代の資料の特質について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。</p>	<p>○先史・古代の歴史を組み立てる資料から、先史・古代の特色を示す情報を読み取る。</p> <p>○先史・古代の歴史を組み立てる資料から読み取った情報をふまえ、「先史・古代の歴史資料には、どのような特徴があるのだろうか」「その取りあつかいには、どのような注意が必要なのだろうか」などの教師の問いかけを基に、第1章で立</p>

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
				てた時代を通観する問いに対する仮説を表現する。
		2 東アジアとの交流のなかでうかびあがる歴史	<p>○東アジアとの交流のなかでうかびあがる歴史に関する資料から適切な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。</p> <p>○第1章で立てた時代を通観する問いをふまえ、東アジアとの交流のなかでうかびあがる歴史に関する資料を通して読み取れる情報から、先史・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。</p>	<p>○東アジアとの交流のなかでうかびあがる歴史に関する資料から、先史・古代の特色を示す情報を読み取る。</p> <p>○東アジアとの交流のなかでうかびあがる歴史に関する資料から読み取った情報をふまえ、「東アジアとの関係や環境の変化は、日本列島の古代社会や文化の形成・展開にどのような影響をおよぼしたのだろうか」などの教師の問いかけを基に、第1章で立てた時代を通観する問いに対する仮説を表現する。</p>
		3 木簡が語る律令国家の実態	<p>○木簡から適切な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。</p> <p>○第1章で立てた時代を通観する問いをふまえ、木簡を通して読み取れる情報から、古代国家の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。</p>	<p>○木簡から、古代国家の特色を示す情報を読み取る。</p> <p>○木簡から読み取った情報をふまえ、「木簡は、律令国家の解明にどのような役割をはたすようになってきたのだろうか」などの教師の問いかけを基に、第1章で立てた時代を通観する問いに対する仮説を表現する。</p>
5月	第3章 古代社会の形成と展開 1節 律令国家の形成と古代文化の展開		○第1章で学んだ原始社会の特色や古代の国家や社会との関わりの理解や時代を通観する問い、第2章で表現した古代を展望する仮説をふまえ、資料を扱う技能を活用し、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、	

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
			根拠を示して表現する学習を通じて、先史から古代の政治・社会や文化の特色を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	
		1 大和王権と古墳文化	<p>○時代を通観する問い、仮説をふまえて主題を設定し、1 節「律令国家の形成と古代文化の展開」の学習について見通しを持つ。</p> <p>○主題を基に、1 項「大和王権と古墳文化」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、古墳時代の政治と文化について理解する。</p>	<p>○1 節「律令国家の形成と古墳文化の展開」に関する主題を設定し、どのようなことが明らかにできるかについて見通しを持つ。</p> <p>○1 項「大和王権と古墳文化」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、中国の史書や遺物などの資料から読み取る。</p> <p>○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、古墳時代の政治と文化について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。</p>
		2 飛鳥の朝廷と文化	<p>○主題を基に、2 項「飛鳥の朝廷と文化」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、飛鳥時代の政治と文化について理解する。</p>	<p>○2 項「飛鳥の朝廷と文化」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、『日本書紀』や現在に伝わる文化財などの資料から読み取る。</p> <p>○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、飛鳥時代の政治と文化について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。</p>
		3 律令国家の形成と白鳳文化	<p>○主題を基に、3 項「律令国家の形成と白鳳文化」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、律令国家の形</p>	<p>○3 項「律令国家の形成と白鳳文化」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、『日本書紀』や現在に伝わる文化財などの資料から読み取</p>

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
			成過程と律令制の特徴について理解する。	○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、律令国家の形成過程と律令制の特徴について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。
		■地域の窓 出雲国意宇郡中心部の古代の景観	○出雲国意宇郡を例として、律令国家の地方行政について学ぶ。	
		4 平城京と天平文化	○主題を基に、4 項「平城京と天平文化」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、奈良時代の政治と文化について理解する。 ○1 節「律令国家の形成と古代文化の展開」の学習について振り返るとともに、諸事象の解釈や画期を表現することを通して、先史から古代の政治・社会や文化の特色を理解する。	○4 項「平城京と天平文化」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、『続日本紀』や絵図、現在に伝わる文化財などの資料から読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、奈良時代の政治と文化について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。 ○1 節「律令国家の形成と古代文化の展開」の学習内容を振り返り、自分が立てた主題について諸資料を活用して考察し、その結果や画期についてワークシート等に表現する。
		●歴史を探る 奈良時代の貴族と庶民	○奈良時代の遺跡の発掘調査の成果から、奈良時代の貴族と庶民の生活についての理解を深める。	
	2 節 摂関政治と貴族文化		○第1章で学んだ原始社会の特色や古代の国家や社会との関わりの理解や時代を通観する問い、第2章で表現した古代を展望する仮説をふまえ、資料を扱う技	

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
			能を活用し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	
		1 平安遷都と唐風文化	<p>○時代を通観する問い、仮説をふまえて主題を設定し、2 節「摂関政治と貴族文化」の学習について見通しを持つ。</p> <p>○主題を基に、1 項「平安遷都と唐風文化」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、平安時代初期の政治と文化について理解する。</p>	<p>○2 節「摂関政治と貴族文化」に関する主題を設定し、どのようなことができるかについて見通しを持つ。</p> <p>○1 項「平安遷都と唐風文化」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、当時の書物や現在に伝わる文化財などの資料から読み取る。</p> <p>○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、平安時代初期の政治と文化について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。</p>
		2 貴族社会と摂関政治	<p>○主題を基に、2 項「貴族社会と摂関政治」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、藤原氏の台頭と武士の出現について理解する。</p>	<p>○2 項「貴族社会と摂関政治」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、公家の日記や絵図などの資料から読み取る。</p> <p>○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、藤原氏の台頭と武士の出現について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。</p>

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
6 月		<p>■地域の窓 古代・中世の日本の 玄関口 博多</p>	○博多を例として、古代～中世の貿易都市について学ぶ。	
		3 国風文化	<p>○主題を基に、3項「国風文化」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、国風文化の特色について理解する。</p> <p>○2節「摂関政治と貴族文化」の学習について振り返るとともに、諸事象の解釈や画期を表現することを通して、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。</p>	<p>○3項「国風文化」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、当時の日記や編纂物、現在に伝わる文化財などの資料から読み取る。</p> <p>○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、国風文化の特色について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。</p> <p>○2節「摂関政治と貴族文化」の学習内容を振り返り、自分が立てた主題について諸資料を活用して考察し、その結果や画期についてワークシート等に表現する。</p> <p>○第1編「先史・古代の日本と東アジア」の学習を振り返り、次の学習へのつながりについて考察し、ワークシート等に表現する。</p>
		◇世界を見た日本人 長期留学の経験をいかした二人の若者	○粟田真人と吉備真備を例として、日本人の入唐経験から、古代を理解するうえでの視野を広げる。	
	第2編 中世の日本と世界		○平安時代末から戦国時代までを扱い、中世がどのような時代であったかを東アジアやユーラシアの動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解できるようにする。	
	第1章 中世社会の成立		○院政期から武家政権成立期の歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時	



月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
			代の転換を理解し、中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	
		1 朝廷政治の変容	○院政の開始と展開，土地支配の変容について理解する。	○院政の特色や荘園公領制の成立に関する資料を基に，「朝廷のもとでの政治や土地支配のしくみは，どのように変容していったのだろうか」などの課題（問い）を設定し，朝廷政治や土地支配の変容について考察し，表現する。
		2 武士の政治進出	○武士の社会進出と平氏政権の誕生，およびその時代の外交と文化の特色について理解する。 ○古代から中世への時代の転換に着目して，中世の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現する。	○武士の政治進出に関する資料を基に，「朝廷の政治のなかで，武士はどのようにして力をもつようになったのだろうか」などの課題（問い）を設定し，武家政権の誕生や，同時代の外交・文化の特色について考察し，表現する。 ○第1章での学習や，中学校社会科歴史的分野における学習の成果を活用するなどして，古代から中世への時代の転換を示す指標や事象について考察する。 ○時代の転換について着目し，中世の特色についての考察などをふまえ，時代を通観する問いを表現する。
	第2章 歴史資料と中世の展望		○資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに，読み取った情報から中世の特色についての仮説を表現することを通じて，第3章に向けて，見通しをもった学習を展開できるようにする。	

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		1 武家権力による 日本社会の変容	<p>○武家権力による日本社会の変容に関する資料から適切な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。</p> <p>○第1章で立てた時代を通観する問いをふまえ、武家権力による日本社会の変容に関する資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。</p>	<p>○武家権力による日本社会の変容に関する資料から、中世の特色を示す情報を読み取る。</p> <p>○武家権力による日本社会の変容に関する資料から読み取った情報をふまえ、「武家権力は、社会をどのように変えたのだろうか」「武家権力そのものは、どのように変化していったのだろうか」などの教師の問いかけを基に、第1章で立てた時代を通観する問いに対する仮説を表現する。</p>
		2 厳しい自然環境 での人々の生存戦略	<p>○厳しい自然環境での人々の生存戦略に関する資料から適切な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。</p> <p>○第1章で立てた時代を通観する問いをふまえ、厳しい自然環境での人々の生存戦略に関する資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。</p>	<p>○厳しい自然環境での人々の生存戦略に関する資料から、中世の特色を示す情報を読み取る。</p> <p>○厳しい自然環境での人々の生存戦略に関する資料から読み取った情報をふまえ、「中世の人々の暮らしはどのようなものだったのだろうか」「人々にとって、荘園領主たちはどのような存在だったのだろうか」などの教師の問いかけを基に、第1章で立てた時代を通観する問いに対する仮説を表現する。</p>
		3 中世日本の国際 交流	<p>○中世日本の国際交流に関する資料から適切な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。</p> <p>○第1章で立てた時代を通観する問いをふまえ、中世日本の国際交流に関する資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。</p>	<p>○中世日本の国際交流に関する資料から、中世の特色を示す情報を読み取る。</p> <p>○中世日本の国際交流に関する資料から読み取った情報をふまえ、「中世の日本をとりまく国際交流にはどのような特徴がみられるだろうか」などの教師の問いかけを基に、第1章で立てた時代を通観する問いに対する仮説を表現する。</p>

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
7 月	第3章 中世社会の展開 1節 武家政権の成立と朝廷		○第1章で学んだ古代から中世への転換の理解や時代を通観する問い、第2章で表現した中世を展望する仮説をふまえ、資料を扱う技能を活用し、中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	
		1 鎌倉幕府の誕生	○時代を通観する問い、仮説をふまえて主題を設定し、1節「武家政権の成立と朝廷」の学習について見通しを持つ。 ○主題を基に、1項「鎌倉幕府の誕生」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、鎌倉幕府の支配のしくみについて理解する。	○1節「武家政権の成立と朝廷」に関する主題を設定し、どのようなことが明らかにできるかについて見通しを持つ。 ○1項「鎌倉幕府の誕生」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、当時の書状や日記などの資料から読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、鎌倉幕府の支配のしくみについて多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。
		■地域の窓 伯耆国東郷荘	○伯耆国東郷荘を例として、領域型荘園の特徴について学ぶ。	
		2 執権による政治	○主題を基に、2項「執権による政治」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角	○2項「執権による政治」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、『吾妻鏡』や絵図など

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
			的に考察し、表現する活動を通して、執権政治の特色について理解する。	の資料から読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、執権政治の特色について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。
		3 モンゴル襲来と社会の変貌	○主題を基に、3 項「モンゴル襲来と社会の変貌」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、モンゴル襲来と鎌倉時代の社会の変化について理解する。	○3 項「モンゴル襲来と社会の変貌」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、絵巻物などの絵画資料から読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、モンゴル襲来と鎌倉時代の社会の変化について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。
		4 鎌倉の仏教と文化	○主題を基に、4 項「鎌倉の仏教と文化」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、鎌倉時代の仏教と文化について理解する。 ○1 節「武家政権の成立と朝廷」の学習について振り返るとともに、諸事象の解釈や画期を表現することを通して、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解する。	○4 項「鎌倉の仏教と文化」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、当時の書物や絵画、現在に伝わる文化財などの資料から読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、鎌倉時代の仏教と文化について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。 ○1 節「武家政権の成立と朝廷」の学習内容を振り返り、自分が立てた主題について諸資料を活用して考察し、その結果や画期についてワークシート等に表現する。
		●歴史を探る 全国に展開する御家人の所領	○御家人の所領の全国的展開から、鎌倉時代の武士の土地支配について	

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
9月	2節 武家支配の広がり と国際交流		の理解を深める。	
		1 南北朝の動乱と 室町幕府の成立	<p>○時代を通観する問い、仮説をふまえて主題を設定し、2節「武家支配の広がり と国際交流」の学習について見通しを持つ。</p> <p>○主題を基に、1項「南北朝の動乱と室町幕府の成立」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、鎌倉幕府の滅亡から室町幕府の成立にかけての幕府と朝廷の動きについて理解する。</p>	<p>○2節「武家支配の広がり と国際交流」に関する主題を設定し、どのようなことが明らかにできるかについて見通しを持つ。</p> <p>○1項「南北朝の動乱と室町幕府の成立」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、当時の書物などの資料から読み取る。</p> <p>○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、鎌倉幕府の滅亡から室町幕府の成立にかけての幕府と朝廷の動きについて多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。</p>
		2 倭寇と東アジア 国際交流	<p>○主題を基に、2項「倭寇と東アジア国際交流」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面</p>	<p>○2項「倭寇と東アジア国際交流」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、絵画や遺物などの</p>

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
			的・多角的に考察し、表現する活動を通して、室町時代の対外関係について理解する。	資料から読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、室町時代の対外関係について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。
		3 室町時代の社会と経済活動	○主題を基に、3 項「室町時代の社会と経済活動」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、室町時代の社会について理解する。	○3 項「室町時代の社会と経済活動」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、絵画や遺物などの資料から読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、室町時代の社会について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。
		■地域の窓 自治都市としての堺	○堺を例として、中世における自治都市の繁栄について学ぶ。	
		4 自立する戦国大名	○主題を基に、4 項「自立する戦国大名」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、戦国大名の分国支配と都市の発達について理解する。	○4 項「自立する戦国大名」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、当時の記録や分国法などの資料から読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、戦国大名の分国支配と都市の発達について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。
		●歴史を探る 自力救済の抑制―暴力の連鎖を断ち切るために	○戦国大名の分国法の規定から、中世における自力救済の抑制についての理解を深める。	

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		5 室町文化	<p>○主題を基に、5 項「室町文化」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、室町文化の特色について理解する。</p> <p>○2 節「武家支配の広がり」と国際交流」の学習について振り返るとともに、諸事象の解釈や画期を表現することを通して、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解する。</p>	<p>○5 項「室町文化」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、当時の記録や現在に伝わる文化財などの資料から読み取る。</p> <p>○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、室町文化の特色について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。</p> <p>○2 節「武家支配の広がり」と国際交流」の学習内容を振り返り、自分が立てた主題について諸資料を活用して考察し、その結果や画期についてワークシート等に表現する。</p> <p>○第2編「中世の日本と世界」の学習を振り返り、次の学習へのつながりについて考察し、ワークシート等に表現する。</p>
		●歴史を探る 狂言がものがたる中世社会	○現代に伝わる狂言の内容から、中世社会についての理解を深める。	
		◇世界を見た日本人 中国滞在を経て自信を強めた禅僧画家 雪舟	○明に渡った雪舟を例として、日本人の海外経験から、中世を理解するうえでの視野を広げる。	
	第3編 近世の日本と世界		○安土桃山時代から江戸時代までを扱い、近世がどのような時代であったかを世界の動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解する。	
	第1章 近世社会の形成		○織豊政権の成立前後からの歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、近世の特色について多面	

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
			的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	
		1 地球的世界の形成と日本	○アジア各地やヨーロッパ諸国との交流が日本に及ぼした影響について理解する。	○アジア各地やヨーロッパ諸国と日本の交流に関する資料を基に、「鉄砲やキリスト教が日本に伝わることで、どのような変化が生じたのだろうか」などの課題（問い）を設定し、国内の社会の変容について考察し、表現する。
		●歴史を探る 海を渡った安土の屏風	○織田信長とヨーロッパの関係から、地球的世界の形成についての理解を深める。	
		2 織豊政権による全国統一	○織豊政権による全国統一と、その政策の目的や意義について理解する。	○織豊政権に関する資料を基に、「織田信長・豊臣秀吉は、どのような政策によって全国統一をなしとげたのだろうか」などの課題（問い）を設定し、織豊政権による諸政策の目的や意義について考察し、表現する。
		3 桃山文化	○桃山文化の特色について理解する。 ○中世から近世への時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	○桃山文化に関する資料を基に、「桃山文化の新しさには、どのようなものがあげられるのだろうか」などの課題（問い）を設定し、国内の文化の変容について考察し、表現する。 ○第1章での学習や、中学校社会科歴史的分野における学習の成果を活用するなどして、中世から近世への時代の転換を示す指標や事象について考察する。 ○時代の転換について着目し、近世の特色についての考察などをふまえて、時代を通観する問いを表現する。



月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
10月	第2章 歴史資料と近世の展望		○資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から近世の特色についての仮説を表現することを通じて、第3章に向けて、見通しをもった学習を展開できるようにする。	
		1 参勤交代と幕藩体制	○参勤交代と幕藩体制に関する資料から適切な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ○第1章で立てた時代を通観する問いをふまえ、参勤交代と幕藩体制に関する資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。	○参勤交代と幕藩体制に関する資料から、近世の特色を示す情報を読み取る。 ○参勤交代と幕藩体制に関する資料から読み取った情報をふまえ、「近世の武士がつくりあげた支配のしくみは、どのようなものだったのだろうか」などの教師の問いかけを基に、第1章で立てた時代を通観する問いに対する仮説を表現する。
		2 百姓たちの生活世界	○百姓たちの生活世界に関する資料から適切な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ○第1章で立てた時代を通観する問いをふまえ、百姓たちの生活世界に関する資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。	○百姓たちの生活世界に関する資料から、近世の特色を示す情報を読み取る。 ○百姓たちの生活世界に関する資料から読み取った情報をふまえ、「近世を生きた人々は、どのようにして生活を成り立たせたのだろうか」などの教師の問いかけを基に、第1章で立てた時代を通観する問いに対する仮説を表現する。
		3 江戸時代の対外関係	○江戸時代の対外関係に関する資料から適切な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ○第1章で立てた時代を通観する問いをふまえ、江戸時代の対外関係に関する資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、	○江戸時代の対外関係に関する資料から、近世の特色を示す情報を読み取る。 ○江戸時代の対外関係に関する資料から読み取った情報をふまえ、「近世の日本は、海外とどのように接点を持っていたのだろうか」などの教師の問いかけを基

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
			仮説を表現する。	に、第1章で立てた時代を通観する問いに対する仮説を表現する。
	第3章 近世社会の展開 1節 幕藩体制の確立		○第1章で学んだ中世から近世への転換の理解や時代を通観する問い、第2章で表現した近世を展望する仮説をふまえ、資料を扱う技能を活用し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	
		1 江戸幕府と大名・朝廷	○時代を通観する問い、仮説をふまえて主題を設定し、1節「幕藩体制の確立」の学習について見通しを持つ。 ○主題を基に、1項「江戸幕府と大名・朝廷」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、江戸幕府の支配のしくみについて理解する。	○1節「幕藩体制の確立」に関する主題を設定し、どのようなことが明らかにできるかについて見通しを持つ。 ○1項「江戸幕府と大名・朝廷」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、各種法度などの資料から読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、江戸幕府の支配のしくみについて多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。
		2 近世の身分と人々の暮らし	○主題を基に、2項「近世の身分と人々の暮らし」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通	○2項「近世の身分と人々の暮らし」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、当時の人々を描いた絵画などの資料から読み取る。

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
			して、近世の身分と村や町での生活について理解する。	○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、近世の身分と村や町での生活について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。
		●歴史を探る 江戸時代の村の生活	○江戸時代の百姓のくらしや年中行事に関する資料から、江戸時代の村の生活についての理解を深める。	
		3 アジアのなかの幕藩体制	○主題を基に、3項「アジアのなかの幕藩体制」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、江戸幕府の対外政策について理解する。	○3項「アジアのなかの幕藩体制」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、貿易に関する絵画や法令などの資料から読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、江戸幕府の対外政策について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。
		■地域の窓 城下町 飯田	○飯田を例として、近世城下町の成り立ちについて学ぶ。	
		4 武断政治から文治政治へ	○主題を基に、4項「武断政治から文治政治へ」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、幕府政治の転換について理解する。	○4項「武断政治から文治政治へ」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、当時の幕府の政策に関する資料などから読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、幕府政治の転換について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		5 幕藩体制下の社会の発展	<p>○主題を基に、5 項「幕藩体制下の社会の発展」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、産業の発達と文化の興隆について理解する。</p> <p>○1 節「幕藩体制の確立」の学習について振り返るとともに、諸事象の解釈や画期を表現することを通して、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解する。</p>	<p>○5 項「幕藩体制下の社会の発展」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、当時の絵画や出版物、現存する文化財などの資料から読み取る。</p> <p>○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、産業の発達と文化の興隆について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。</p> <p>○1 節「幕藩体制の確立」の学習内容を振り返り、自分が立てた主題について諸資料を活用して考察し、その結果や画期についてワークシート等に表現する。</p>
	2 節 近世社会の成熟と幕藩体制の動揺		<p>○第1章で学んだ中世から近世への転換の理解や時代を通観する問い、第2章で表現した近世を展望する仮説をふまえ、資料を扱う技能を活用し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。</p>	
		1 享保の改革と経済の発展	<p>○時代を通観する問い、仮説をふまえて主題を設定し、2 節「近世社会の成熟と幕藩体制の動揺」の学習について見通しを持つ。</p>	<p>○2 節「近世社会の成熟と幕藩体制の動揺」に関する主題を設定し、どのようなことが明らかになるかについて見通しを持つ。</p>

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
			○主題を基に、1 項「享保の改革と経済の発展」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、享保の改革と経済の発展について理解する。	○1 項「享保の改革と経済の発展」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、幕府の政策、絵画・出版物などの資料から読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、享保の改革と経済の発展について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。
		■地域の窓 四国の農書	○四国のそれぞれの国の農書を例として、農業技術の発展について学ぶ。	
		2 近世社会の成熟と危機の始まり	○主題を基に、2 項「近世社会の成熟と聞きの始まり」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、18 世紀中後期の政治・社会・文化について理解する。	○2 項「近世社会の成熟と危機の始まり」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、18 世紀中後期の文化や飢饉・一揆に関する資料などから読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、18 世紀中後期の政治・社会・文化について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。
		3 幕藩体制の立て直し	○主題を基に、3 項「幕藩体制の立て直し」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、18 世紀末～19 世紀初頭の政治・社会・文化について理解する。	○3 項「幕藩体制の立て直し」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、幕府の政策、絵画・出版物などの資料から読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、18 世紀末～19 世紀初頭の政治・社会・文化について多面的・

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		4 幕藩体制の動揺	<p>○主題を基に、4 項「幕藩体制の動揺」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、19 世紀前半の政治・社会・文化について理解する。</p> <p>○2 節「近世社会の成熟と幕藩体制の動揺」の学習について振り返るとともに、諸事象の解釈や画期を表現することを通して、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色を理解する。</p> <p>○時代を通観する問い、仮説をふまえて、近世の特色および近代へのつながりについて多面的・多角的に考察して表現するとともに、「近世の日本と世界」の学習について振り返り、次の学習へのつながりを見いだす。</p>	<p>多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。</p> <p>○4 項「幕藩体制の動揺」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、幕府や藩の政策や当時の絵画などの資料から読み取る。</p> <p>○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、19 世紀前半の政治・社会・文化について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。</p> <p>○2 節「近世社会の成熟と幕藩体制の動揺」の学習内容を振り返り、自分が立てた主題について諸資料を活用して考察し、その結果や画期についてワークシート等に表現する。</p> <p>○第3編「近世の日本と世界」の学習を振り返り、歴史総合の学習をふまえ、近代につながる諸要素について考察し、ワークシート等に表現する。</p>
		◇世界を見た日本人 ロシアと単独交渉 高田屋嘉兵衛	<p>○ロシアと単独交渉した高田屋嘉兵衛を例として、日本人の海外経験から、近世を理解するうえでの視野を広げる。</p>	
11 月	第4編 近現代の地域・日本と世界		<p>○近世の幕末期から現代までを扱い、「歴史総合」の学習をふまえ、世界の情勢の変化とそこにおける日本の相互の関係や、日本の近現代の歴史を、多面的・多角的に考察し理解する。また、それらをふまえて、現代の</p>	

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
			日本の諸課題について、多面的・多角的に考察して理解するとともに、歴史的経緯や根拠をふまえて構想する。	
	第1章 近代社会の幕開け		○幕末から近代初頭の時代の歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	
		1 開国と開港	○開国と開港による日本のさまざまな変化について理解する。	○欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化に関する資料を基に、「どのような経緯で、日本は世界の経済のなかに組みこまれていったのだろうか」などの課題（問い）を設定し、外交政策の転換とその影響について考察し、表現する。
		2 幕府の崩壊と明治維新	○江戸幕府の崩壊から明治維新に至る過程について理解する。 ○近世から近代への時代の転換に着目して、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	○幕府の崩壊から明治維新に関する資料を基に、「どのように江戸幕府は倒れ、新政府が成立したのだろうか」などの課題（問い）を設定し、国内の政治の変容について考察し、表現する。 ○第1章での学習や、「歴史総合」における学習の成果を活用するなどして、近世から近代への時代の転換を示す指標や事象について考察する。 ○時代の転換に着目し、近代の特色についての考察などをふまえて、時代を通観する問いを表現する。

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
	第2章 歴史資料と近現代の展望		○資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から近代の特色についての仮説を表現することを通じて、第3章に向けて、見通しをもった学習を展開できるようにする。	
		1 資本主義の発展と生活	○資本主義の発展と生活に関する資料から適切な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ○第1章で立てた時代を通観する問いをふまえ、資本主義の発展と生活に関する資料を通して読み取れる情報から、近現代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。	○資本主義の発展と生活に関する資料から、近現代の特色を示す情報を読み取る。 ○資本主義の発展と生活に関する資料から読み取った情報をふまえ、「資本主義的な経済のしくみが広がると、生活はどのように変わったのだろうか」「また、そのことを人々はどのように感じていたのだろうか」などの教師の問いかけを基に、第1章で立てた時代を通観する問いに対する仮説を表現する。
		2 国民国家と政治参加	○国民国家と政治参加に関する資料から適切な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ○第1章で立てた時代を通観する問いをふまえ、国民国家と政治参加に関する資料を通して読み取れる情報から、近現代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。	○国民国家と政治参加に関する資料から、近現代の特色を示す情報を読み取る。 ○国民国家と政治参加に関する資料から読み取った情報をふまえ、「近現代日本の人々はどのようにして国家の一員としての意識を持つようになったのだろうか」などの教師の問いかけを基に、第1章で立てた時代を通観する問いに対する仮説を表現する。
		3 世界のなかの近現代日本	○世界のなかの近現代日本に関する資料から適切な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ○第1章で立てた時代を通観する問いをふまえ、世界のなかの近現代日本に	○世界のなかの近現代日本に関する資料から、近現代の特色を示す情報を読み取る。 ○世界のなかの近現代日本に関する資料から読み取った情報をふまえ、



月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
			<p>関する資料を通して読み取れる情報から、近現代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。</p>	<p>「近現代の日本は、世界とどのようにつながっていたのだろうか」 「また、これまでの時代からどのように変化したのだろうか」などの教師の問いかけを基に、第1章で立てた時代を通観する問いに対する仮説を表現する。</p>
	<p>第3章 近現代社会の展開 1節 近代的制度の導入と新しい国際関係</p>		<p>○第1章で学んだ近世から近代への転換の理解や時代を通観する問い、第2章で表現した近現代を展望する仮説をふまえ、資料を扱う技能を活用し、近代から現代にいたる国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、近代的制度の導入、アジアや欧米諸国との関係を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。</p>	
		<p>1 制度改革と殖産興業政策</p>	<p>○時代を通観する問い、仮説をふまえて主題を設定し、1節「近代的制度の導入と新しい国際関係」の学習について見通しを持つ。 ○主題を基に、1項「制度改革と殖産興業政策」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、明治初期の諸政策とその意義について理解する。</p>	<p>○1節「近代的制度の導入と新しい国際関係」に関する主題を設定し、どのようなことができるかについて見通しを持つ。 ○1項「制度改革と殖産興業政策」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、絵画や写真などの資料から読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、明治初期の諸政策とその意義について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。</p>

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		2 文明開化と教育制度の整備	○主題を基に、2 項「文明開化と教育制度の整備」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、明治初期の文化・教育の進展について理解する。	○2 項「文明開化と教育制度の整備」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、当時の出版物や絵画などの資料から読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、明治初期の文化・教育の進展について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。
		3 東アジア世界のなかの明治政府	○主題を基に、3 項「東アジア世界のなかの明治政府」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、明治初期の対外政策について理解する。	○3 項「東アジア世界のなかの明治政府」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、条約の条文や写真などの資料から読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、明治初期の対外政策について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。
		●歴史を探る 岩倉使節団	○岩倉使節団の体験から、明治政府の近代化政策の背景についての理解を深める。	
		4 政府専制への批判	○主題を基に、4 項「政府専制への批判」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、自由民権運動の展開について理解する。 ○1 節「近代的制度の導入と新しい国際関係」の学習について振り返るとともに、諸事象の解	○4 項「政府専制への批判」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、法令の条文や風刺画などの資料から読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、自由民権運動の展開について多面的・多角的に考察し、その

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
12月			<p>積や画期を表現することを通して、近代的制度の導入、アジアや欧米諸国との国際関係を理解する。</p>	<p>結果をワークシート等に表現する。</p> <p>○1 節「近代的制度の導入と新しい国際関係」の学習内容を振り返り、自分が立てた主題について諸資料を活用して考察し、その結果や画期についてワークシート等に表現する。</p>
	2 節 国民国家と資本主義の成立	1 立憲政治の成立	<p>○第1章で学んだ近世から近代への転換の理解や時代を通観する問い、第2章で表現した近現代を展望する仮説をふまえ、資料を扱う技能を活用し、近代から現代にいたる国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、立憲体制への移行、国民国家の形成、産業の発展の経緯と近代の文化の特色を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。</p> <p>○時代を通観する問い、仮説をふまえて主題を設定し、2 節「国民国家と資本主義の成立」の学習について見通しを持つ。</p> <p>○主題を基に、1 項「立憲政治の成立」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、立憲制の確立について理解する。</p>	<p>○2 節「国民国家と資本主義の成立」に関する主題を設定し、どのようなことが明らかにできるかについて見通しを持つ。</p> <p>○1 項「立憲政治の成立」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、大日本帝国憲法や諸法典の条文などの資料から読み取る。</p> <p>○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、立憲制の確立について多面的・多角的</p>

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
1 月				に考察し、その結果をワークシート等に表現する。
		■地域の窓 福島県喜多方市域の変遷	○福島県喜多方市を例として、近現代の地方公共団体の変遷について学ぶ。	
		2 対外関係の変容と日清戦争	○主題を基に、2項「対外関係の変容と日清戦争」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、条約改正交渉と日清戦争の経緯について理解する。	○2項「対外関係の変容と日清戦争」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、結ばれた条約などの資料から読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、条約改正交渉と日清戦争の経緯について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。
		3 産業革命と資本主義の定着	○主題を基に、3項「産業革命と資本主義の定着」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、明治期の産業の発展と資本主義社会の成立について理解する。	○3項「産業革命と資本主義の定着」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、写真やグラフなどの資料から読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、明治期の産業の発展と資本主義社会の成立について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。
		●歴史を探る 義務教育が定着したのはいつか？	○教育に関するグラフの読み取りから、近代日本の義務教育についての理解を深める。	
	4 教育制度の整備と新しい文化	○主題を基に、4項「教育制度の整備と新しい文化」に関わる課題（問い）を設定し、資料を	○4項「教育制度の整備と新しい文化」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）	

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
			用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、教育の普及と文化の発展について理解する。	を解決するために必要な情報を、出版物や絵画などの資料から読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、教育の普及と文化の発展について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。
		5 日露戦争と帝国日本	○主題を基に、5 項「日露戦争と帝国日本」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、日露戦争の経過と日本の帝国主義の進展について理解する。	○5 項「日露戦争と帝国日本」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、外交文書や写真などの資料から読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、日露戦争の経過と日本の帝国主義の進展について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。
		6 日露戦争後の社会と政治	○主題を基に、6 項「日露戦争後の社会と政治」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、20 世紀初頭の政治と社会について理解する。 ○2 節「国民国家と資本主義の成立」の学習について振り返るとともに、諸事象の解釈や画期を表現することを通して、立憲体制への移行、国民国家の形成、産業の発展の経緯と近代の文化の特色を理解する。	○6 項「日露戦争後の社会と政治」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、新聞記事や写真などの資料から読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、20 世紀初頭の政治と社会について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。 ○2 節「国民国家と資本主義の成立」の学習内容を振り返り、自分が立てた主題について諸資料を活用して考察し、その結果や画期についてワークシート等に表現する。

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
	3節 両大戦間期の日本		○第1章で学んだ近世から近代への転換の理解や時代を通観する問い、第2章で表現した近現代を展望する仮説をふまえ、資料を扱う技能を活用し、近代から現代にいたる国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、大衆社会の形成、アジアと欧米諸国との関係の変容を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	
		1 都市化・重工業化と生活の変化	○時代を通観する問い、仮説をふまえて主題を設定し、3節「両大戦間期の日本」の学習について見通しを持つ。 ○主題を基に、1項「都市化・重工業化と生活の変化」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、第一次世界大戦と当時の産業や文化の発展について理解する。	○3節「両大戦間期の日本」に関する主題を設定し、どのようなことが明らかにできるかについて見通しを持つ。 ○1項「都市化・重工業化と生活の変化」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、出版物や写真などの資料から読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、第一次世界大戦と当時の産業や文化の発展について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。
		■地域の窓 新潟の米づくりと近代農業技術	○新潟の米づくりを例として、近現代における農業技術の発達について学ぶ。	

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		2 政党政治とデモクラシー	○主題を基に、2 項「政党政治とデモクラシー」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、大正期の政治と社会運動の高まりについて理解する。	○2 項「政党政治とデモクラシー」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、法令や出版物、写真などの資料から読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、大正期の政治と社会運動の高まりについて多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。
		3 国際社会のなかの日本	○主題を基に、3 項「国際社会のなかの日本」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、大正期の日本の対外政策について理解する。 ○3 節「両大戦間期の日本」の学習について振り返るとともに、諸事象の解釈や画期を表現することを通して、大衆社会の形成、アジアと欧米諸国との関係の変容を理解する。	○3 項「国際社会のなかの日本」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、条約や新聞記事などの資料から読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、大正期の日本の対外政策について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。 ○3 節「両大戦間期の日本」の学習内容を振り返り、自分が立てた主題について諸資料を活用して考察し、その結果や画期についてワークシート等に表現する。
	4 節 第二次世界大戦と日本		○第1章で学んだ近世から近代への転換の理解や時代を通観する問い、第2章で表現した近現代を展望する仮説をふまえ、資料を扱う技能を活用し、近代から現代にいたる国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事	

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
			象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	
		1 昭和恐慌と立憲政治の動揺	<ul style="list-style-type: none"> <li>○時代を通観する問い、仮説をふまえて主題を設定し、4 節「第二次世界大戦と日本」の学習について見通しを持つ。</li> <li>○主題を基に、1 項「昭和恐慌と立憲政治の動揺」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、昭和恐慌前後の経済政策と立憲政治の動揺について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○4 節「第二次世界大戦と日本」に関する主題を設定し、どのようなことが明らかにできるかについて見通しを持つ。</li> <li>○1 項「昭和恐慌と立憲政治の動揺」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、新聞記事や写真などの資料から読み取る。</li> <li>○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、昭和恐慌前後の経済政策と立憲政治の動揺について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。</li> </ul>
		2 中国侵略と戦時体制への移行	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主題を基に、2 項「中国侵略と戦時体制への移行」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、満洲事変と日中戦争について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2 項「中国侵略と戦時体制への移行」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、新聞記事や写真などの資料から読み取る。</li> <li>○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、満洲事変と日中戦争について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。</li> </ul>



月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
2 月	5節 占領と改革	3 戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開	<p>○主題を基に、3項「戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、第二次世界大戦とアジア太平洋戦争について理解する。</p> <p>○4節「第二次世界大戦と日本」の学習について振り返るとともに、諸事象の解釈や画期を表現することを通して、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。</p>	<p>○3項「戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、当時の国際関係や政策などに関する資料から読み取る。</p> <p>○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、第二次世界大戦とアジア太平洋戦争について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。</p> <p>○4節「第二次世界大戦と日本」の学習内容を振り返り、自分が立てた主題について諸資料を活用して考察し、その結果や画期についてワークシート等に表現する。</p>
		●歴史を探る 沖縄戦	○沖縄戦から、アジア太平洋戦争についての理解を深める。	
			○第1章で学んだ近世から近代への転換の理解や時代を通観する問い、第2章で表現した近現代を展望する仮説をふまえ、資料を扱う技能を活用し、近代から現代にいたる国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		1 占領と日本国憲法の成立	<p>○時代を通観する問い、仮説をふまえて主題を設定し、5 節「占領と改革」の学習について見通しを持つ。</p> <p>○主題を基に、1 項「占領と日本国憲法の成立」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、占領下の政治と日本国憲法の成立について理解する。</p>	<p>○5 節「占領と改革」に関する主題を設定し、どのようなことが明らかにできるかについて見通しを持つ。</p> <p>○1 項「占領と日本国憲法の成立」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、当時の写真や憲法などの資料から読み取る。</p> <p>○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、占領下の政治と日本国憲法の成立について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。</p>
		2 冷戦の開始と経済復興	<p>○主題を基に、2 項「冷戦の開始と経済復興」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、冷戦の開始と日本の復興について理解する。</p> <p>○5 節「占領と改革」の学習について振り返るとともに、諸事象の解釈や画期を表現することを通して、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係を理解する。</p>	<p>○2 項「冷戦の開始と経済復興」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、当時の写真や政策に関する資料などから読み取る。</p> <p>○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、冷戦の開始と日本の復興について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。</p> <p>○5 節「占領と改革」の学習内容を振り返り、自分が立てた主題について諸資料を活用して考察し、その結果や画期についてワークシート等に表現する。</p>
	6 節 国際社会への復帰と高度経済成長		<p>○第1章で学んだ近世から近代への転換の理解や時代を通観する問い、第2章で表現した近現代を展望する仮説をふまえ、資料を扱う技能を活用し、近代から現</p>	

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
			代にいたる国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、我が国の再出発後の政治・経済や対外関係を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	
		1 国際社会への復帰と対米協調	<p>○時代を通観する問い、仮説をふまえて主題を設定し、6 節「国際社会への復帰と高度経済成長」の学習について見通しを持つ。</p> <p>○主題を基に、1 項「国際社会への復帰と対米協調」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、日本の主権回復とその後の政治について理解する。</p>	<p>○6 節「国際社会への復帰と高度経済成長」に関する主題を設定し、どのようなことが明らかにできるかについて見通しを持つ。</p> <p>○1 項「国際社会への復帰と対米協調」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、さまざまな条約の条文などの資料から読み取る。</p> <p>○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、日本の主権回復とその後の政治について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。</p>
		2 高度経済成長	<p>○主題を基に、2 項「高度経済成長」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、高度経済成長とその影響について理解する。</p> <p>○6 節「国際社会への復帰と高度経済成長」の学習について振り返るとともに、諸事象の解釈や画期を表現することを通して、我が国の再</p>	<p>○2 項「高度経済成長」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、写真やグラフなどの資料から読み取る。</p> <p>○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、高度経済成長とその影響について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。</p> <p>○6 節「国際社会への復帰</p>

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
			出発及びその後の政治・経済や対外関係を理解する。	と高度経済成長」の学習内容を振り返り、自分が立てた主題について諸資料を活用して考察し、その結果や画期についてワークシート等に表現する。
		●歴史を探る 戦後の子どもの世界	○戦後の子どもたちの遊び・娯楽から、戦後の日本社会の変化についての理解を深める。	
		■地域の窓 旧軍用地の戦後	○東京の旧軍用地を例として、戦後の土地利用について学ぶ。	
	7節 アジア情勢の変化と経済大国日本		○第1章で学んだ近世から近代への転換の理解や時代を通観する問い、第2章で表現した近現代を展望する仮説をふまえ、資料を扱う技能を活用し、近代から現代にいたる国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、現代の政治や社会の枠組みを理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	
		1 1970年代の国際社会と日本	○時代を通観する問い、仮説をふまえて主題を設定し、7節「アジア情勢の変化と経済大国日本」の学習について見通しを持つ。 ○主題を基に、1項「1970年代の国際社会と日本」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、1970年代の世界	○7節「アジア情勢の変化と経済大国日本」に関する主題を設定し、どのようなことができるかについて見通しを持つ。 ○1項「1970年代の国際社会と日本」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、対外政策に関するや写真などの資料から読み取る。 ○課題（問い）について生

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
3 月			と日本の政治について理解する。	徒相互で話し合うなどして、1970年代の世界と日本の政治について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。
		2 安定成長への転換	○主題を基に、2項「安定成長への転換」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、高度経済成長後の政治と経済について理解する。 ○7節「アジア情勢の変化と経済大国日本」の学習について振り返るとともに、諸事象の解釈や画期を表現することを通して、現代の政治や社会の枠組みを理解する。	○2項「安定成長への転換」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、新聞記事やグラフなどの資料から読み取る。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、高度経済成長後の政治と経済について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。 ○7節「アジア情勢の変化と経済大国日本」の学習内容を振り返り、自分が立てた主題について諸資料を活用して考察し、その結果や画期についてワークシート等に表現する。
		●歴史を探る 戦後日本の保守と革新	○保守勢力と革新勢力のあり方から、戦後の政治の変遷についての理解を深める。	
	8節 新しい国際秩序と日本の課題		○第1章で学んだ近世から近代への転換の理解や時代を通観する問い、第2章で表現した近現代を展望する仮説をふまえ、資料を扱う技能を活用し、近代から現代にいたる国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の	

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
			変容を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	
		1 激変する世界と日本	<p>○時代を通観する問い、仮説をふまえて主題を設定し、8 節「新しい国際秩序と日本の課題」の学習について見通しを持つ。</p> <p>○主題を基に、1 項「激変する世界と日本」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、20 世紀末の世界と日本の動きについて理解する。</p>	<p>○8 節「新しい国際秩序と日本の課題」に関する主題を設定し、どのようなことが明らかにできるかについて見通しを持つ。</p> <p>○1 項「激変する世界と日本」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、写真やグラフなどの資料から読み取る。</p> <p>○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、20 世紀末の世界と日本の動きについて多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。</p>
		2 21 世紀の日本	<p>○主題を基に、2 項「21 世紀の日本」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、21 世紀の政治と経済について理解する。</p> <p>○8 節「新しい国際秩序と日本の課題」の学習について振り返るとともに、諸事象の解釈や画期を表現することを通して、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解する。</p> <p>○時代を通観する問い、仮説をふまえて、近現代の特色および現代の日本の課題について多面的・多角的に考察して表現するとともに、「近現代の地域・日本と世界」の学習について振り返り、次の学習へのつながりを見い</p>	<p>○2 項「21 世紀の日本」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、写真や新聞記事などの資料から読み取る。</p> <p>○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、21 世紀の政治と経済について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。</p> <p>○「新しい国際秩序と日本の課題」の学習内容を振り返り、自分が立てた主題について諸資料を活用して考察し、その結果や画期についてワークシート等に表現する。</p> <p>○第4編「近現代の地域・日本と世界」の学習を振り返り、近現代を通じた歴史の画期を考察</p>

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
			だす。	し、ワークシート等に表現する。
		◇世界を見た日本人 日本人初と2番目の ノーベル賞受賞者	○日本人初と2番目のノー ベル賞受賞者を例として、日本人の海外経験から、近現代を理解するうえでの視野を広げる。	
	4章 現代の日本の 課題の探究		○これまでの学習をふまえ、持続可能な社会の実現を視野に入れ、地域社会や身の回りの事象と関連させて主題を設定し、諸資料を活用して探究する活動を通して、現代の日本の課題の形成に関わる歴史と展望について、多面的・多角的に考察、構想して表現する。	
		1 社会や集団と個人	○「社会や集団と個人」をテーマに、これまでの学習をふまえ、持続可能な社会の実現を視野に入れ、地域社会や身の回りの事象と関連させて主題を設定し、諸資料を活用して探究する活動を通して、現代の日本の課題の形成に関わる歴史と展望について、多面的・多角的に考察、構想して表現する。	○「社会や集団と個人」をテーマに、持続可能な社会の実現を視野に入れ、「人はどのようなつながりのなかで生きているのだろうか」などの主題を設定し、自分なりの仮説を立て、諸資料を活用して探究する。その結果を、論文やレポートなどにまとめ、プレゼンテーション等をおこなう。
		2 世界のなかの日本	○「世界のなかの日本」をテーマに、これまでの学習をふまえ、持続可能な社会の実現を視野に入れ、地域社会や身の回りの事象と関連させて主題を設定し、諸資料を活用して探究する活動を通して、現代の日本の課題の形成に関わる歴史と展望について、多面的・多角的に考察、構想して表現する。	○「世界のなかの日本」をテーマに、持続可能な社会の実現を視野に入れ、「日本の国際協力はどうか」などの主題を設定し、自分なりの仮説を立て、諸資料を活用して探究する。その結果を、論文やレポートなどにまとめ、プレゼンテーション等をおこなう。
		3 伝統や文化の継	○「伝統や文化の継承と創	○「伝統や文化の継承と創

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		承と創造	造」をテーマに、これまでの学習をふまえ、持続可能な社会の実現を視野に入れ、地域社会や身の回りの事象と関連させて主題を設定し、諸資料を活用して探究する活動を通して、現代の日本の課題の形成に関わる歴史と展望について、多面的・多角的に考察、構想して表現する。	造」をテーマに、持続可能な社会の実現を視野に入れ、「伝統文化はなぜ大切なのか」などの主題を設定し、自分なりの仮説を立て、諸資料を活用して探究する。その結果を、論文やレポートなどにまとめ、プレゼンテーション等をおこなう。

#### 4 評価の方法

##### (1) 評価の結果を活かす

評価は、教師が指導の改善を図るとともに、生徒自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにするためのものである。そのため、観点別学習状況の最終的な評価であり、記録に残す「評定に用いる評価」と、記録に残す必要はないが、学習の過程で生徒の状況を把握したり、確認したりする「学習改善につなげる評価」を、学校や生徒の状況に合わせて、的確に組み合わせることが大切である。

##### (2) 評価の観点

知識・技能	○我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解している。 ○諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切に効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	○我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、次期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想している。 ○考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論している。
主体的に学習に取り組む態度	○我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ○よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。

##### (3) 評価の時期と方法

ア 各学校では、多くの学校で定期考査が設定されていると思われるが、定期考査では、知識偏重にならないように考慮したい。配分は各自治体や学校の実状に合わせて設定してよいが、三つの観点に基づいた評価ができるようにすべきである。

イ また、評価は定期考査だけで行うべきではない。教科書の各項目の冒頭にある「課題」に対する答えなどを、ノートやワークシート等に記述させたい。もちろん、教科書を利用した記述だけでなく、授業中の他の活動におけるプレゼンテーションやグループワークの結果もノートやワークシート等に記述させるなど、評価をする際には教師側の工夫が必要である。

ウ それぞれの評価は、生徒が「おおむね満足できる」状況に到達できるよう、指導すべきである。評定にいたるまでの段階で「努力を要する」状況と判断される場合には、さまざまなアドバイス等によって学習改善を図る、形成的な評価が大切である。

##### (4) 評定について

評定については、それぞれの学校の実状に合わせて設定された目標のもとに、評価規準に照らし合わせて、生徒が「おおむね満足できる」状況に到達できているかを軸として、総合的に判断する。